

「コストダウン技術情報」は、加工・工事・メンテナンスに関するエンジニア向けの技術ニュースです。印刷の上、ぜひ貴社内でご覧下さい！

1. 高精度・高耐久に加え、セットアップ不要のヘッド交換式ドリルで稼働率を大幅向上！

『ドリルラッシュ』は最新のヘッド交換式の穴あけ工具です。多様なヘッドレパートリーで最適な穴あけ加工を実現します。小径D6.0から0.1飛びで揃う豊富なレパートリーはテグテックジャパンだけです。

レパートリーの特徴

- ①M8の下穴からご使用頂ける、小径D6.0～0.1飛びでラインアップ
- ②1.5D,3D,5D,8D,12Dと豊富な本体長さ
- ③座ぐり向けに使用できるフラットヘッド (D8.0～D25.5)
- ④深穴対応のダブルマージンヘッド (D8.0～D19.5)



また、独自のクランプ構造でヘッドの抜けを防止し高精度な加工を実現すると共に、機上で簡単にヘッド交換できる構造になっているため、**機械稼働率が大幅向上します。**

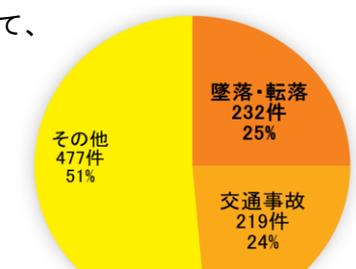


さらに、先端は最新多層PVDコーティング (TT9080) がされているため、耐摩耗性・耐チッピング性に優れ、長い工具寿命を実現するだけでなく、高い切削条件 (高速・高送り加工時) でも安定した加工が可能です。

2. 2019年2月からは 6.75m以上の高所では安全性の高いフルハーネス型の着用が義務化されます！

労災による死亡原因の1位は「墜落・転落事故」です。2019年2月から労働安全衛生法にて、6.75m以上の高所では従来の胴ベルト型安全帯が使用できず、**安全性の高いフルハーネス型の着用が義務化されます。**

労災による死亡原因の1位は「墜落・転落」



出典：H28年厚生労働省労働災害統計

- ★労働安全衛生法 安全帯に関する新ルール(2018年6月告示)
- *高さ6.75m以上でフルハーネス型着用義務化 (2019年2月から)
- *フルハーネス型のベルトの身体装着箇所は骨盤とフィットする腰部追加
- *2022年1月から現行規格品販売・着用全面禁止



3. エス・エヌ・ジーでは、工作機械選定・治具の設計製作までワンストップで対応可能です！

弊社では、機械移設・設置に関する工事を行っております。今回の事例では立形マシニングセンタだけでなく、円テーブルもセットで設置をしましたが、このようにワーク・加工条件に即した最適な工作機械・周辺機器の選定から設置まで一貫してサポート可能です。設備の増産を考えたい、新規の加工依頼で困った際は是非、ご相談ください。

【立形マシニングセンタ設置工事】



設置した立形マシニングセンタ(オークマ MB-56VA)の特徴

- ⇒期待を上回る生産性を実現する**高剛性構造**
 - ①3D-CAD、FEM解析を駆使した高剛性本体構造
 - ②門形MCで実績のある高剛性門形構造
 - ③送り軸軸受のブラケット・本体一体構造
 - ④重切削も難しくこなす強力主軸
- 「導入のメリット」
工具補正回数削減：抜群の寸法安定性により、朝一番に寸法確認すれば、周囲の温度変化や機械の一時停止による補正作業は不要。
多数間取り加工での寸法精度向上：加工位置に合わせて熱変位制御することで、多数個のワークを載せて加工する場合でもワークの寸法精度が向上！

ス マ ホ de ご 安 全 に！

ご安全に！本社経理の並川です。毎日寒い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか？

私からは、旭鉄工株式会社の木村社長が、自社で進めた生産ラインのIoT化について書かれた書籍“Small Factory 4.0 第四次「町工場」革命を目指せ!”をご紹介します。本で紹介されているIoT化のポイントは、少ない初期投資で済み、古い設備でも導入でき、導入方法も簡単な「製造ラインの遠隔モニタリングシステム」です。資金力に劣る中小企業でも導入でき、生産性を上げられることが強調されています。

最近IoTとよく耳にしますが、IoTって何なのか、何をどうするのか、よく分かっていませんでした。また私は経理なので現場に疎いのですが、改善に至るまでの道のりが具体的で分かりやすく書かれており、とても読み易かったです。IoTの導入について関心がある方には是非お勧めしたい一冊です。



本社経理 並川

『Small Factory 4.0』